

開発途上国で、まちづくり！

独立行政法人国際協力機構

開発途上国の最前線の現場で、青年海外協力隊の隊員として国の発展を支援する活動は、まちづくりの現場そのものです。

ミニセミナーでは、青年海外協力隊OBのうち日本のまちづくり分野で活躍する人々に、パネルトーク形式でその思いを語っていただきます！

11月29日(日) 15:30~16:30

渋谷ヒカリエ9F ヒカリエホワイエ

<http://machiten.com/access/> (オフィシャルHPから要事前予約)

〈ミニセミナー登壇者〉



高砂 大(TAKASAGO Hajime)

大学では文化人類学を専攻。青年海外協力隊(パナマ)に参加し、その後JICAの農村開発分野の専門家(メキシコ)を経て、2006年からJICA職員。



森 栄梨子(MORI Eriko)

青年海外協力隊(ホンジュラス)に参加し、村落での生活改善普及に従事。帰国後自然塾寺子屋に入職。研修監理、地域活性化事業に取り組む。県と町の地方創生懇話会委員。



高野 一馬(TAKANO Kazuma)

青年海外協力隊(モザンビーク)に参加し、農業高校で野菜栽培の指導に従事。帰国後群馬県で就農し、露地野菜を中心に栽培。甘楽町農村後継者研究会会長。



浅井 広大(ASAI Hiroo)

青年海外協力隊員(ネパール)に参加し、農業技術の普及活動に従事。現在は、自然塾寺子屋にてネパール地震復興支援と日本の養蚕業の振興に取り組む。甘楽町初の新規養蚕従事者。



栗原 邦泰(KURIBARA Kuniyasu)

群馬県職員として、青年海外協力隊(ザンビア)に参加。稲作隊員として活動。復職後は、農政部職員として若手の農業塾や集落営農支援の業務に従事。



青年海外協力隊

開発途上国の発展、友好親善、帰国後の社会還元を目的に世界各地で活動するボランティア。開始から50年、4万人以上が参加。現在も約2500人が活躍中。